

平成 29 年度那覇空港の接車帯における 混雑緩和検討調査業務

報 告 書

平成 3 0 年 3 月

内閣府沖縄総合事務局
運輸部企画室

- 目 次 -

1. 業務概要	1
1.1 業務の背景・目的	1
1.2 業務の実施手順	4
2. 実証調査の実施計画および運用方法の検討	5
2.1 実施計画の策定	5
2.2 貸渡フロー等の検討	7
2.3 実施体制	8
3. 実証調査の実施	11
3.1 実証調査の実施概要	11
3.2 実証の様子	13
3.3 日別うみそら公園営業所の利用実績（件数）	14
4. 効果検証	15
4.1 実証調査による中之島の削減人数	16
4.2 レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留人数（沖縄県調査結果）	18
4.3 レンタカーを借りるまでの所要時間（沖縄県調査結果）	20
4.4 レンタカー貸渡の満足度（沖縄県調査結果）	21
4.5 うみそら公園出発プラン及びマリナクティビティの利用意向	22
5. 関係者会議の開催	24
5.1 第1回 関係者会議	24
5.2 第2回 関係者会議	26
6. まとめと今後の課題	28
6.1 本実証の総括	28
6.2 次年度以降に向けた課題・方向性	29

1. 業務概要

1.1 業務の背景・目的

本業務の実施の背景・課題認識や国及び県等の動向、業務の目的については、以下に示す通りである。

1.1.1 業務の背景・課題認識

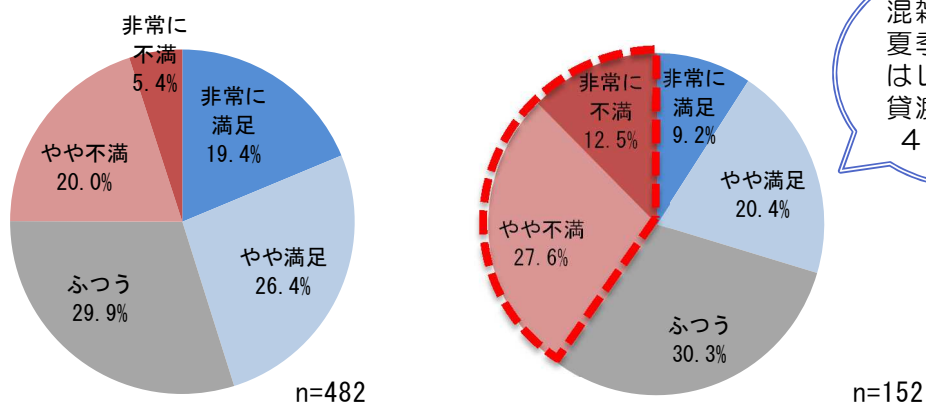
沖縄県を訪れる観光客は年々増加傾向にあり、平成 28 年度の観光客数は 876 万 9,200 人と過去最高を記録した。それに伴って那覇空港の利用者数も増加しており、路線バス、タクシー、レンタカー等二次交通の需要も増加している。

とりわけ、レンタカーについては、夏季ピーク期の観光客の移動手段の 7 割を超える等需要が高く、那覇空港接車帯（レンタカー送迎車両乗り場（空港⑪乗り場）、通称「中之島」）では利用者で溢れかえる状況が発生する等、大変危険な状況となっている。



図表 1 平成 28 年 8 月の夏季ピーク期の中之島の様子（当社撮影）

また、沖縄県が実施した実態調査結果より、那覇空港到着からレンタカーを借り受けるまでの所要時間が最大 2 時間となり、特に中之島における混雑した中での待ち時間が観光客の満足度を低下させる大きな要因となっていることが確認された。



図表 2 レンタカーを借りるまでの時間、サービス等についての満足度
(H28 沖縄県調査結果)

沖縄県では、平成 33 年の訪沖観光客 1,000 万人(今年度 1,200 万人に上方修正)を目標に、沖縄県観光ロードマップを推進する等、引き続き積極的な観光政策が図られていることとなっており、平成 32 年には那覇空港第二滑走路の供用が予定される中、混雑緩和に向けた対策が喫緊の課題となっている。

1.1.2 国及び県等の動向

前述の背景・課題に対して、レンタカー事業者に加え、国及び県でも取組を開始しており、具体的には以下のような動きが見られる。

図表 3 国及び県等の動向

レンタカー事業者	・夏季ピーク期は、人員の増加、送迎車の増加等により需要に対応 ・空港店以外への分散化を図る等事業者単位では可能な範囲で取り組んでいる
沖縄県 (観光振興課)	・H28 年度に「沖縄県内レンタカー観光利用実態調査委託」を実施 ⇒那覇空港中之島の混雑状況等の実態調査結果等を踏まえ、利用環境改善策の方向性を検討 ・H28 年度の調査結果を受け、H29 年度は以下の実証事業及び効果検証のための実態調査の実施を予定 ①路線バス等を活用した那覇空港から豊崎・豊見城方面事業所への送迎実証 ②分散化のための貸渡旅行パッケージの促進 ③H28 年度同様の調査項目での、那覇空港中之島等における効果検証、実態調査等
国土交通省 大阪航空局 那覇空港事務所	・際内連結ビルの工事開始に伴い、レンタカー送迎車両乗り場の移転を検討 (中之島から貸切バス駐車場へ) ⇒H30 年度に向け、レンタカー協会、バス協会、タクシー協会等との調整を実施 ・今年度、夏季において空港北側バスプールにおけるレンタカー送迎車両の駐機場実験
沖縄局運輸部 陸上交通課	・今年度、那覇市内の渋滞箇所におけるレンタカー車両の渋滞影響度の把握、対応方策検討のための実証調査を実施

このような関係者の動きを踏まえるとともに、特に沖縄県（観光振興課）の事業とは連携した取組が求められる。

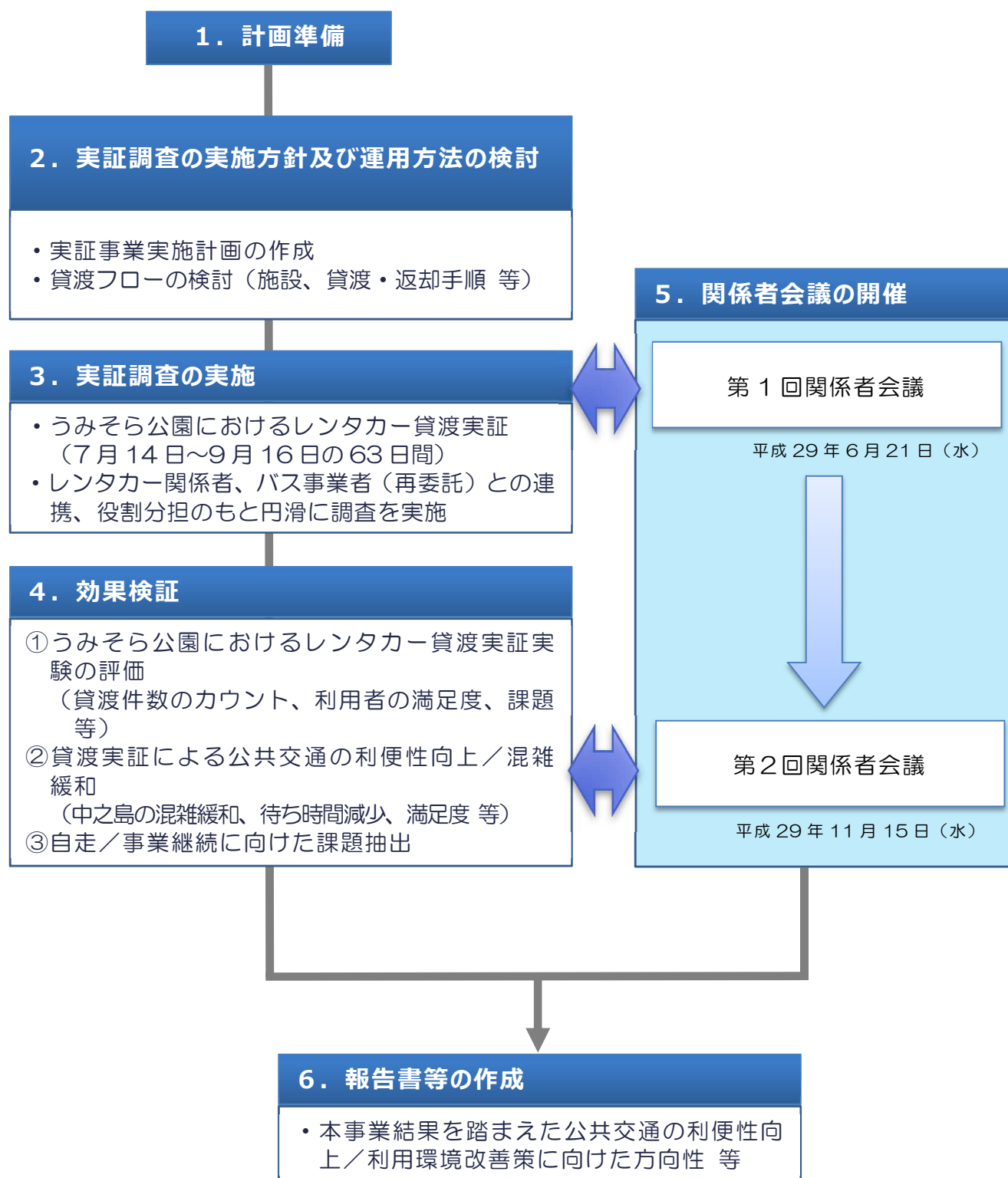
1.1.3 業務の目的

以上のような背景を踏まえ、本業務では、公共交通の利便性の向上のため、那覇空港の混雑緩和策として、波の上うみそら公園施設内にレンタカー営業所を設け、那覇空港から当該営業所にレンタカー利用者を効率的に運送する実証調査を行った。

また、本業務は沖縄県（観光振興課）で実施した実証事業とも連携し、それぞれの効果検証を適切に実施し、公共交通の利便性向上、混雑緩和、観光客の満足度向上に向けた課題を抽出することで、次年度以降の効果的な自走・継続に繋げるものとする。

1.2 業務の実施手順

本業務の実施手順は以下に示す通りである。



図表4 実施手順

2. 実証調査の実施計画および運用方法の検討

本実証調査を円滑に行うため、レンタカー関係者や那覇空港関係者、うみそら公園管理者と協議の上、本実証調査の実施計画を策定し、また運用方法について検討した。

2.1 実施計画の策定

うみそら公園におけるレンタカー貸渡実証調査の実施計画を以下に示す通りとした。

(1) 実証期間

- ・平成29年7月14日(金)～9月16日(土)、計63日間
※7月24日(月)～25(火)は、うみそら公園にてイベント実施のため未実施
- ・10時～17時(貸渡および返却、バスの運行)

(2) 参加レンタカー事業者

- ・ニッポンレンタカー

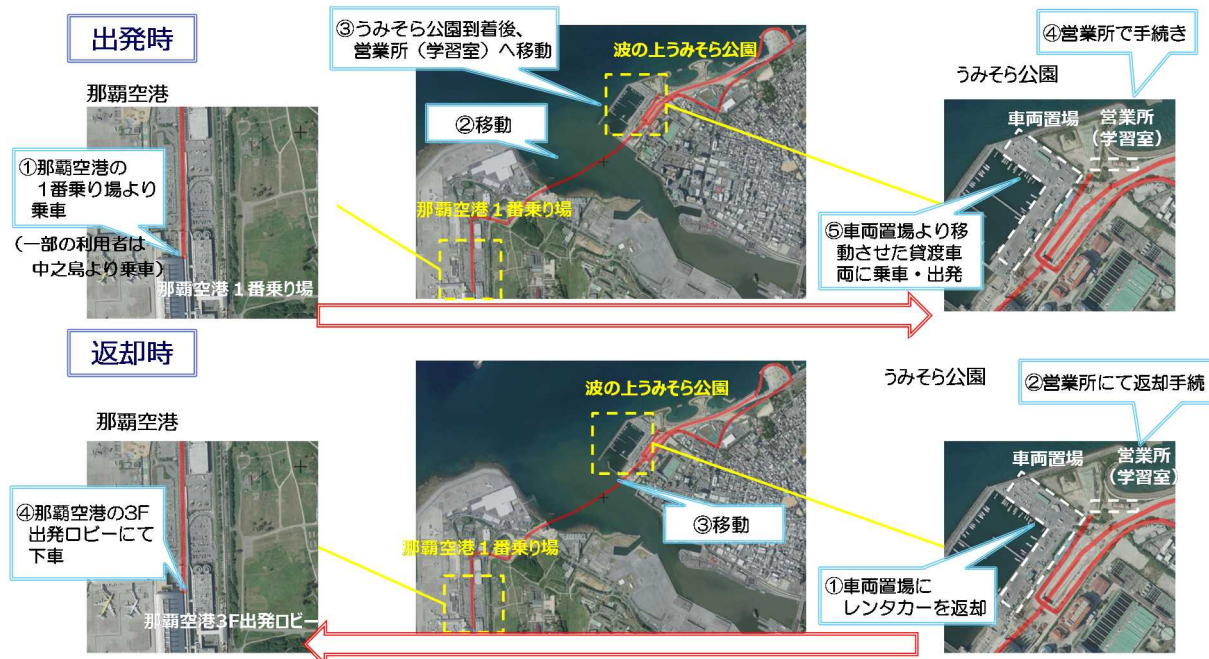
(3) バス運行事業者

- ・琉球バス交通、那覇バス

※国からの委託事業費は琉球バス交通に委託。レンタカー事業者からの委託は、那覇バス(実証期間当初)、琉球バスを予定

(4) 運行経路

- ・那覇空港1番乗り場～波の上うみそら公園間をピストン運行



図表5 うみそら公園におけるレンタカー貸渡実証調査の運行経路図

(5) 貸渡規模

- ・1日10～50台程度（駐車規模は100台程度）

(6) 送迎車両運行台数

- ・予約状況等に応じて1～3台程度

※大型貸切バス1台分は事業費で支出。2台目以降（那覇バス・琉球バス車両）は参加レンタカー事業者負担

(7) 運行間隔

- ・1台利用の場合：概ね30分間隔、2台利用の場合：15分間隔、3台利用の場合：概ね10分間隔

(8) 貸渡場所

- ・波の上うみそら公園内学習室を営業所として使用
- ・波の上うみそら公園駐車場にて出発・返却

(9) 参加者への周知

- ・レンタカー事業者のWEB限定商品等として販売時に周知



図表6 うみそら公園出発プランの周知状況
(ニッポンレンタカーWEBページ)

2.2 貸渡フロー等の検討

円滑なレンタカーの貸渡や返却を行うため、レンタカー利用者の那覇空港到着後からレンタカーの貸渡、返却までの手順を以下に示す通りとした。

2.2.1 貸渡手順

(1) 空港でのオペレーションについて

①到着口～1番乗り場までの誘導

- ・原則、予約時に案内済
- ・よりスムーズな誘導のため、空港案内所やレンタカー協会カウンターと連携

②1番乗り場での案内

- ・ニッポンレンタカースタッフ（誘導員）1～2名を配置
- ・1番乗り場にて、標識柱に張り紙を設置

③乗車前の手続きとオペレーション

- ・予約票に基づく予約状況の確認
- ・1番乗り場にてうみそら公園のアクティビティ等に関するパンフレットを配布
- ・路線バスタイプのため、荷物は利用者にて管理

(2) 乗車・移動

- ・バス事業者により、乗車人数をカウント

(3) うみそら公園内のオペレーションについて

①構内のバスの動線

- ・ゲート到着後、漁港側を通過し、うみそら公園内歩道にて停車
- ・雨天時は身体障害者用駐車箇所にバスを停車

②降車

- ・1～2名の誘導員および案内板により、営業所へ案内

③営業所での手続きおよび貸渡・アンケート配布

- ・手続き時に鍵およびゲートチケットを利用者へ貸出
- ・加えて、アンケート用紙を配布
- ・手続き完了後、スタッフにより駐車場へ案内

④出発

- ・手続き時に貸与したゲートチケットにより出庫・出発

2.2.2 返却手順

(1) うみそら公園内のオペレーションについて

①返却時の対応

- ・貸与しているゲートチケットにより、公園内に入庫し、返却場所まで移動
- ・誘導員の案内により停車、営業所へ案内

②営業所での返却手続およびアンケートの回収

- ・鍵とゲートチケットを受付に返却
 - ・受付時に配布したアンケートを回収
- ※別途、アンケート記入スペースを営業所内で確保

③送迎車両乗り場、乗車時の対応

- ・送迎車両到着まで、利用者は営業所付近で待機・整列し、誘導員の指示のもと乗車
- ・雨天時は、学習室前にテントを設置し、待機

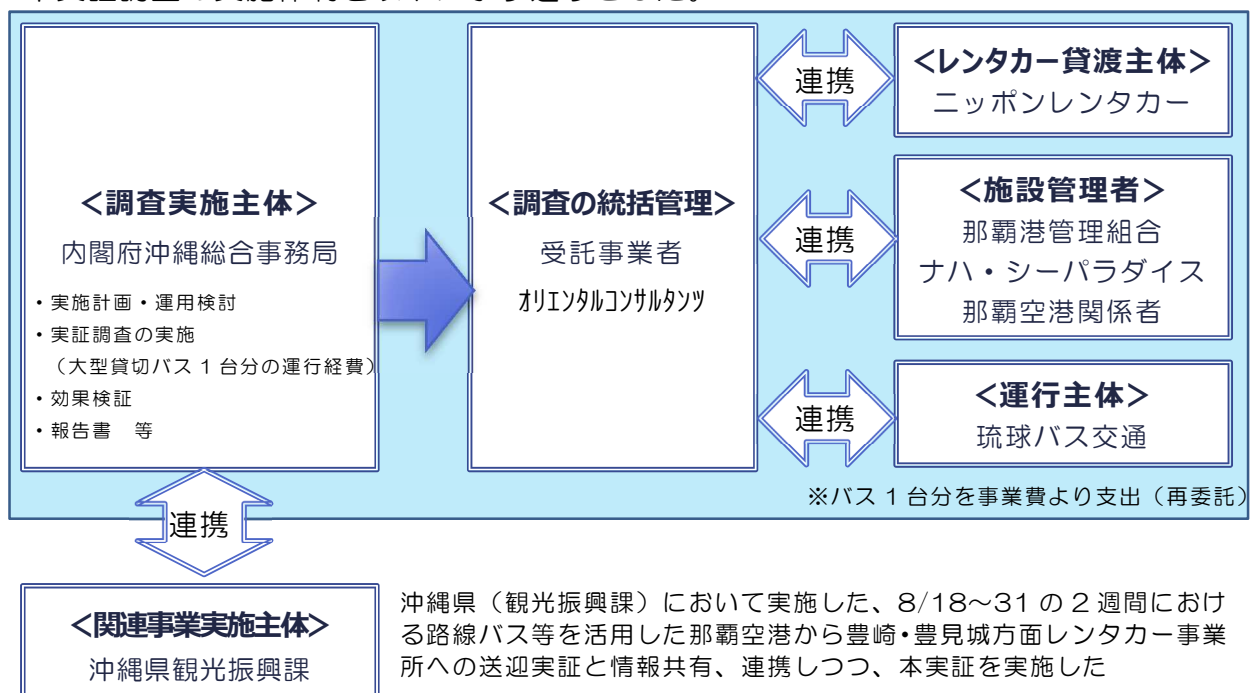
(2) 乗車・移動・下車

- ・バス事業者により、乗車人数をカウント
- ・1 番乗り場に停車し、空港ビルへ移動

2.3 実施体制

2.3.1 実施体制

本実証調査の実施体制を以下に示す通りとした。

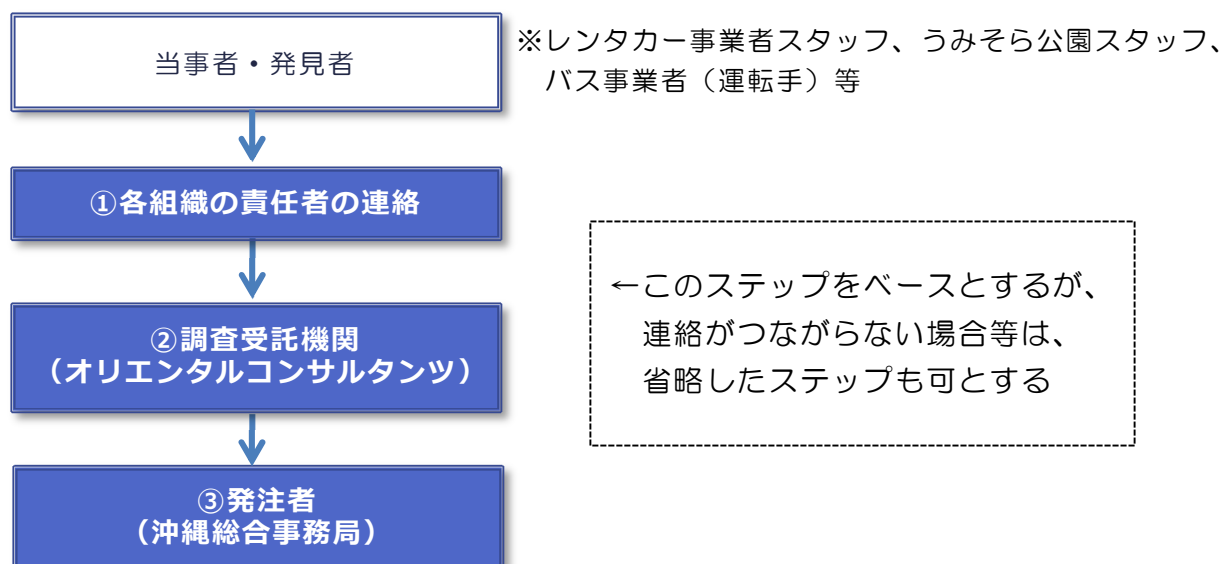


図表 7 実施体制図

2.3.2 緊急時等の対応

(1) 実証事業に関連する事故やトラブル

送迎車両の事故や送迎車両に関連するトラブル（怪我人発生等）、うみそら公園構内での事故等、本実証事業に関連する事故やトラブル等については、以下のような連絡体制で速やかに連絡、情報共有を図り、必要な対応にあたることとした。



図表 8 緊急時の連絡体制の流れ

図表 9 緊急時の連絡先一覧

ニッポン レンタカー沖縄	中谷 文則（那覇空港営業所 課長） 友利 隆二（那覇空港営業所 所長）	<平日・休日（事業所）> 098-951-0900
琉球バス交通	中村 隆一 （観光部予約課課長代理）	<平日・休日（事業所）> 098-852-2522
うみそら公園	比嘉 俊雄 （波の上うみそら公園管理事務所 所長）	<平日（事業所）> 098-863-7300 <休日等（携帯）> [REDACTED]
オリエンタル コンサルタンツ	佐藤 貴行（沖縄支店マネージャー）	<平日（事業所）> 098-860-8403 <休日等（携帯）> [REDACTED]
	岸本 太幹（技師）	[REDACTED]
	江崎 貴昭（技師）	[REDACTED]
沖縄総合事務局	伊志嶺 友浩（運輸部企画室室長 補佐）	<平日（事業所）> 098-866-1812 <休日等（携帯）> [REDACTED]
	新田 史真子（運輸部企画室 専門官）	<休日等（携帯）> [REDACTED]

（２）その他のトラブル・イレギュラーな事業等について

１）通常のレンタカー利用者の事故

- ・原則、事業者による通常対応とする（保険適用等）。
- ・実証車両の事故については、最終的には報告いただくものとする。
（日単位、週単位、月単位等は今後検討）

２）クレーム等について

- ・実証内容に係るクレームについては、人命に係るもの、重大なもの以外は日単位等で共有いただくものとする。
⇒クレームの発生頻度等にもよるが、期間内の改善に繋げるため、特にスタート当初は最低日単位での報告をいただくものとする。

３）荒天時の対応について

- ・通常の雨等については、傘の貸出、待機のためのテントの設置等可能な範囲での対応とする。
- ・台風や大雨時については、飛行機の運行状況等に留意しつつ、都度対応を協議する。

４）その他トラブル等への対応方法

- ・上記 １）～３）以外のトラブルが発生した際の対応方法については、下記に示す通りである。

①那覇空港でのバス乗り場の間違い

Q：間違ったバスに乗車して異なる店舗に行ってしまった

A：那覇空港営業所スタッフにより、うみそら公園へ案内

Q：うみそら公園での予約者以外の利用者が店舗に来てしまった

A：うみそら公園営業所スタッフにより、那覇空港営業所へ案内

②うみそら公園営業時間外の貸渡・返却

Q：フライトが遅れた

A：中之島 1 1 番乗り場より乗車し、那覇空港営業所へ送迎

Q：渋滞により返却が営業時間に間に合わなかった

A：返却が遅れた場合は事前に利用者より電話、那覇空港営業所への返却について事前に案内

③忘れ物

Q：バスの中・レンタカー車両の中・うみそら公園に荷物を忘れてしまった

A：うみそら公園、または那覇空港営業所にて保管

3. 実証調査の実施

公共交通の利便性の向上のため、那覇空港の混雑緩和策として、波の上うみそら公園施設内にレンタカー営業所を設け、那覇空港（1番乗り場、中央バスプール）から営業所にレンタカー利用者を効率的に運送する実証調査を行った。

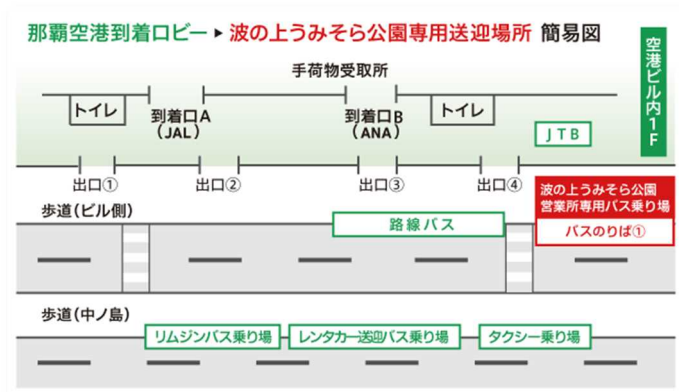
3.1 実証調査の実施概要

本実証調査の実施結果の概要を以下に示した。

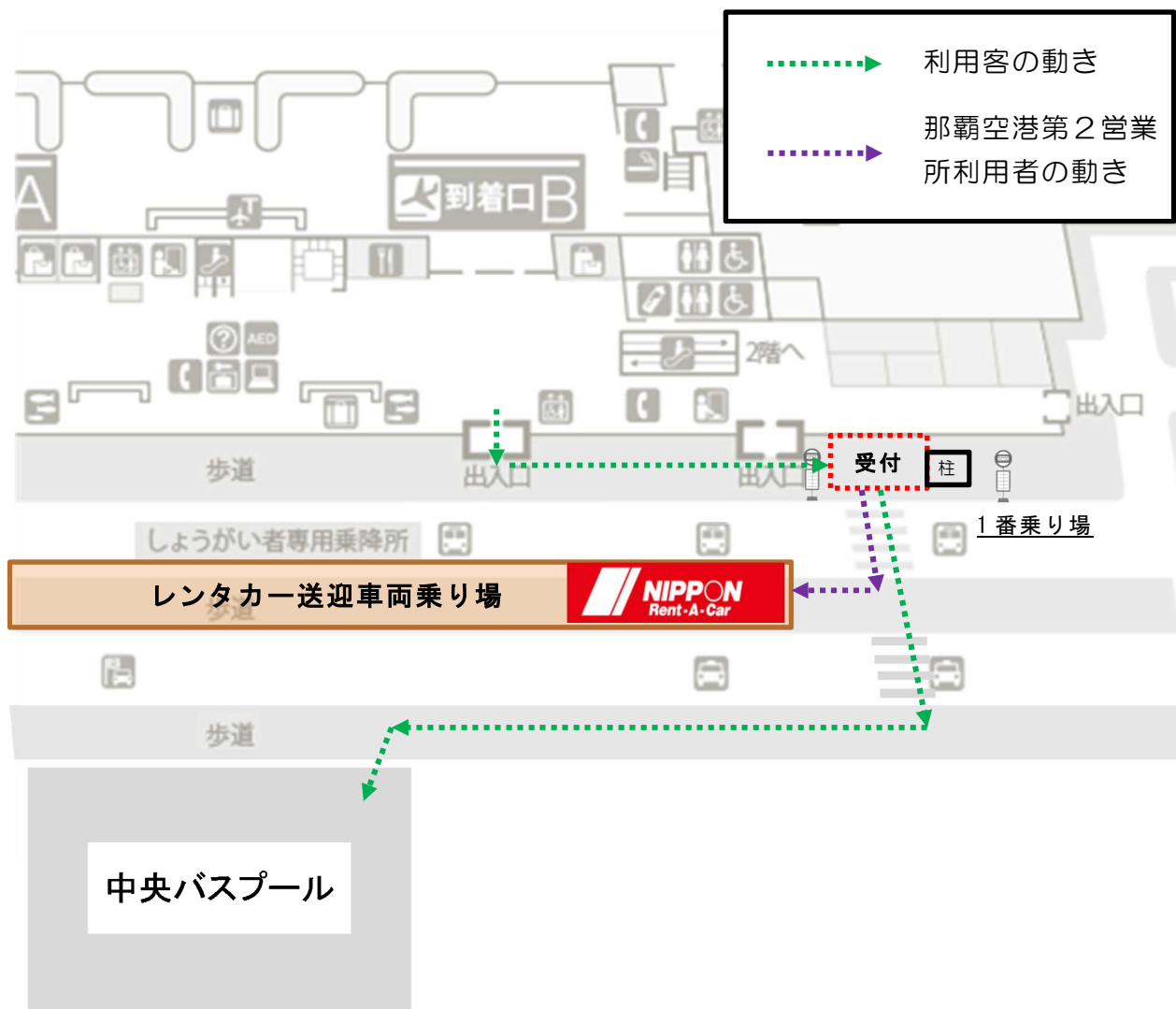
図表10 うみそら公園におけるレンタカー貸渡実証調査の実施概要

実施目的	○公共交通の利便性の向上のため、那覇空港の混雑緩和策として、波の上うみそら公園施設内にレンタカー営業所を設け、那覇空港（1番乗り場、中央バスプール）から営業所にレンタカー利用者を効率的に運送する実証調査を行う。
実証期間	○平成29年7月14日（金）～9月16日（土） （うち7月24日（月）、7月25日（火）を除く）、計63日間
実施時間	○10:00～17:00
レンタカー事業者	○ニッポンレンタカー
バス運行事業者	○琉球バス交通
使用車両	○大型バス（ノンステップ路線バスタイプ）
運行台数	○本事業費にて借用のバス：1台 （その他、ニッポンレンタカー保有車両を使用）
運行経路	○那覇空港～波の上うみそら公園間をピストン運行
空港出発箇所	○7月14日（金）～7月31日（月）：1番バスのりば ○8月1日（火）～9月16日（土）：中央バスプール ※中央バスプールではうみそら公園営業所および那覇空港営業所行きの送迎車両が出発した
貸渡場所	○波の上うみそら公園内学習室を営業所として使用 ○波の上うみそら公園駐車場にて出発・返却 ※一部、返却箇所のみ那覇空港営業所とすることも可とした
参加者への周知	○レンタカー事業者のWEB限定商品等として販売時に周知

【那覇空港出発箇所／7月14日（金）～7月31日（月）：1番バスのりば】



【那覇空港出発箇所／8月1日（火）～9月16日（土）：中央バスプール】



3.2 実証の様子

本実証の実施風景を以下に示す。

空港側での様子（空港ビル側接車帯での予約確認／中央バスプールへの案内・乗車）



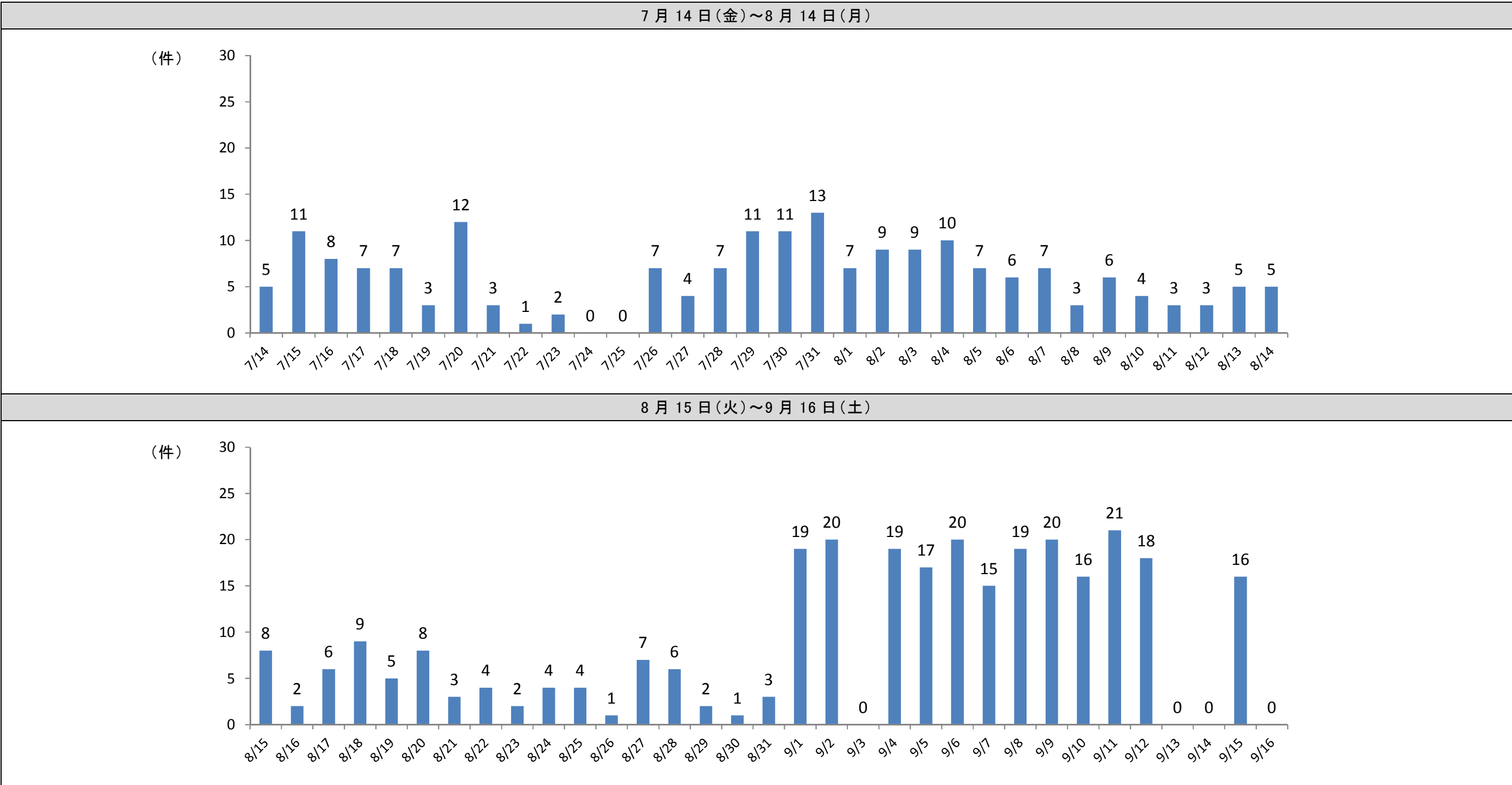
うみそら公園側での様子（公園構内での乗換）



3.3 日別うみそら公園営業所の利用実績（件数）

○7/14～9/16におけるうみそら公園営業所貸渡件数は計 491 件。
⇒うち、7/24～25 はうみそら公園でのイベントのため、9/3 は機械トラブルのため、9/13、14、16 は台風のため、うみそら公園営業所での貸渡は未実施。
○未実施日を除いた計 59 日間における 1 日あたりの平均利用件数は 8.2 件。特に、9/1 以降の 1 日あたりの平均貸渡件数は 18.3 件※。

【日別うみそら公園営業所利用件数】



※9 月 1 日より那覇空港営業所予約客の一部をうみそら公園営業所へ送迎した

4. 効果検証

前章で示した本実証調査の実施結果および沖縄県で実施した実証事業を踏まえた効果検証調査を実施した。効果検証を実施にあたる各種調査の調査項目および調査概要は、以下に示す通りとした。

図表 1 1 効果検証調査の実施概要

効果検証の視点	調査名	調査内容
1. 実証調査による 中之島の削減人数	実証利用者 カウント調査	○本実証事業参加のレンタカー利用者の基礎的なデータを収集・整理 ○日別・時間帯別の出発・返却件数等を把握
2. レンタカー送迎 車両乗り場（中之 島）の滞留人数	那覇空港実態 把握調査 （沖縄県調査結果）	○平成 29 年 8 月 20 日～21 日の 10 時から 15 時にかけて、那覇空港中之島内⑪番乗り場に乗り入れた滞留人数等を 15 分毎にカウントし、昨年度の結果との比較を実施 ○ピーク時の送迎車両乗り場状況を写真に収め、昨年度の乗り場状況との比較を実施
3. レンタカーを 借りるまでの 所要時間	レンタカー利用者 へのアンケート調査 （沖縄県調査結果）	○夏季ピーク期における県内レンタカー利用者を対象としたアンケート調査を実施 ○レンタカー貸渡の混雑期（平成 29 年 8 月 9 日～17 日、20 日～22 日、26 日～29 日）の混雑時間帯（11 時～13 時台）における、那覇空港への到着からレンタカーを借りるまでに要した時間や、貸渡にかかる満足度を把握し、昨年度の調査結果との比較を実施
4. レンタカー貸渡 の満足度		
5. うみそら公園出 発プラン及びマリ ンアクティビティ の利用意向	うみそら公園出発 プラン利用者への アンケート調査	○平成 29 年 7 月 14 日～9 月 16 日にかけて、本実証事業参加のレンタカー事業者の利用者を対象としたアンケート調査を実施 ○うみそら公園出発プランを選んだ理由や、うみそら公園でのマリンアクティビティの今後の利用意向等を把握 ○回収数は 59 票

4.1 実証調査による中之島の削減人数

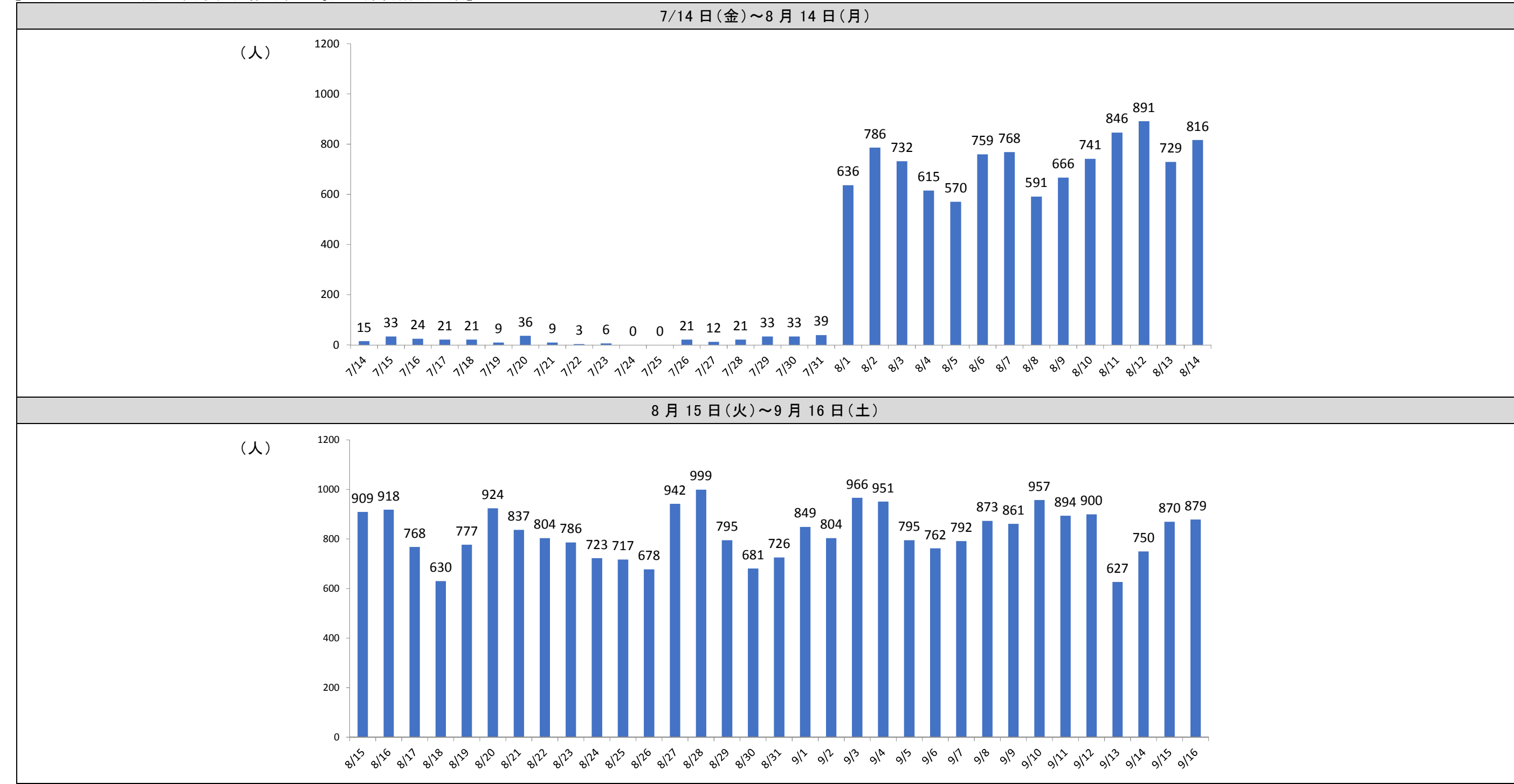
実証利用者カウント調査を実施し、実証調査中のレンタカー送迎車両乗り場以外から乗車した利用者の人数を日別・時間帯別に把握した。

4.1.1 日別レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留削減人数

- 59 日間における中之島削減効果はおよそ 37,626 人※。
- 特に、中央バスプールを使用した 8/1 以降の 47 日間における中之島削減効果は 1 日あたり平均 769 人。

※うみそら公園営業所の貸渡実績（491 件）と中央バスプールへ運用変更後（8/1～）の那覇空港営業所の貸渡実績（12,051 件）の合計（12,542 件）に 1 件あたりの平均利用人数 3 人をかけて算出

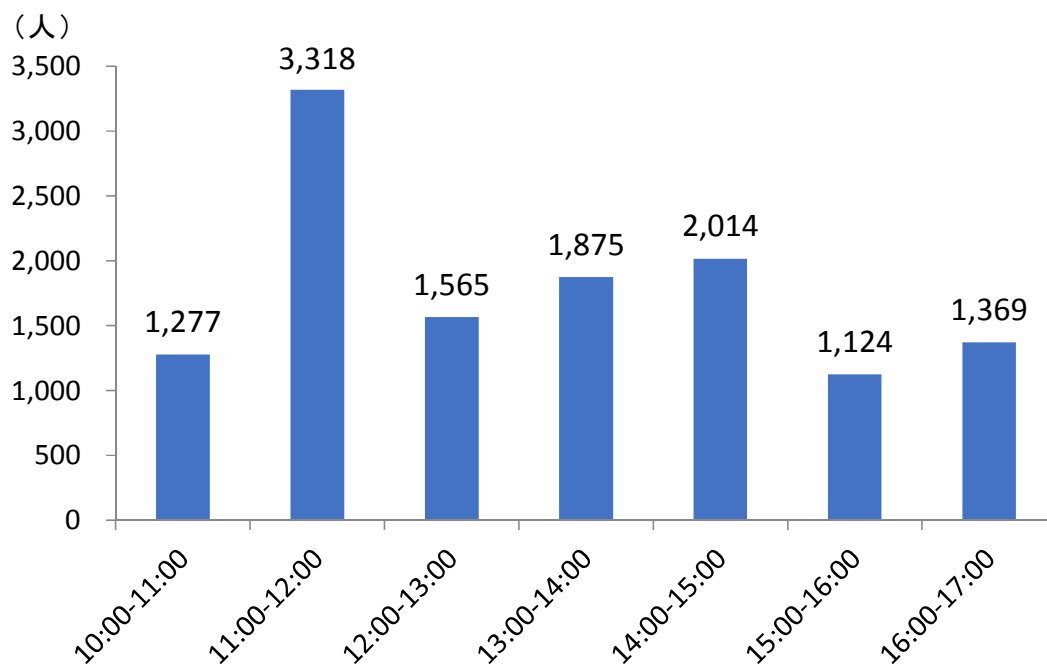
【日別レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留削減人数】



4.1.2 時間帯別レンタカー送迎車両乗り場（中之島）削減人数

○時間帯別レンタカー送迎車両乗り場（中之島）削減人数は 11 時台が 3,318 人と最も多く、その他の時間は 1,500 人前後を推移している。

【時間帯別レンタカー送迎車両乗り場（中之島）削減人数】



4.2 レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留人数（沖縄県調査結果）

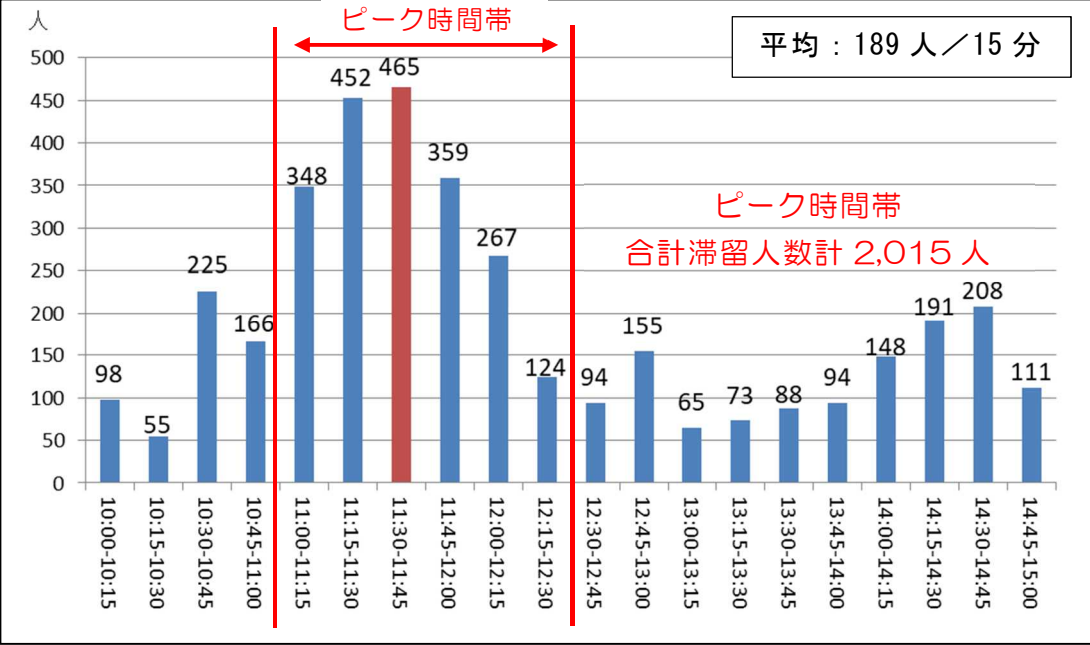
那覇空港実態把握調査の結果をもとに、夏季ピーク期におけるレンタカー送迎車両乗り場の滞留状況について、昨年度の調査結果との比較を行った。

4.2.1 レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留人数

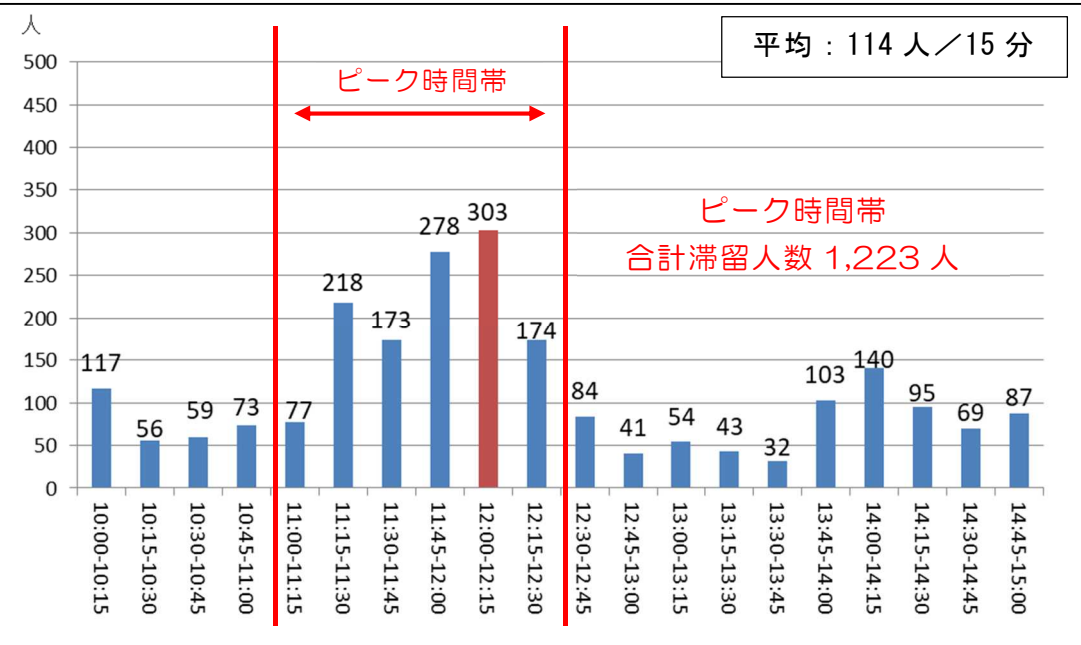
○1 日の中で最も混雑した時間帯（15 分ごと）の滞留人数の最大人数は、休日では 465 人（H28）⇒ 303 人（H29）と、昨年度と比べて約 35%（162 人）減少した。また、平日では 469 人（H28）⇒ 305 人（H29）と、約 35%（164 人）減少した。

【レンタカー送迎車両乗り場の滞留人数】

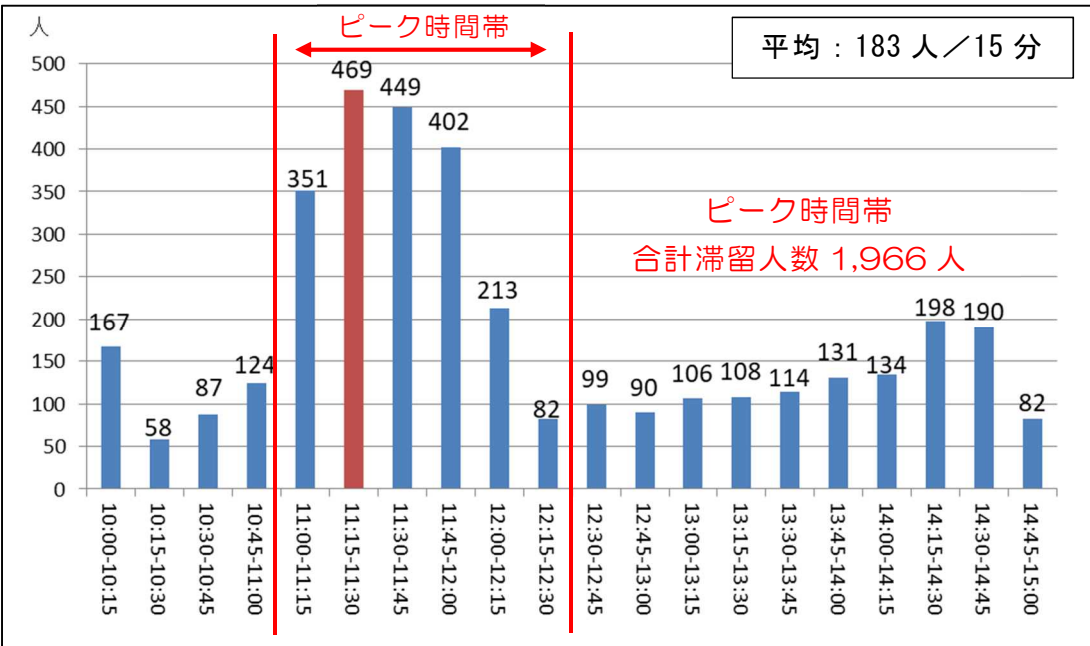
▼平成 28 年 8 月 21 日（日）



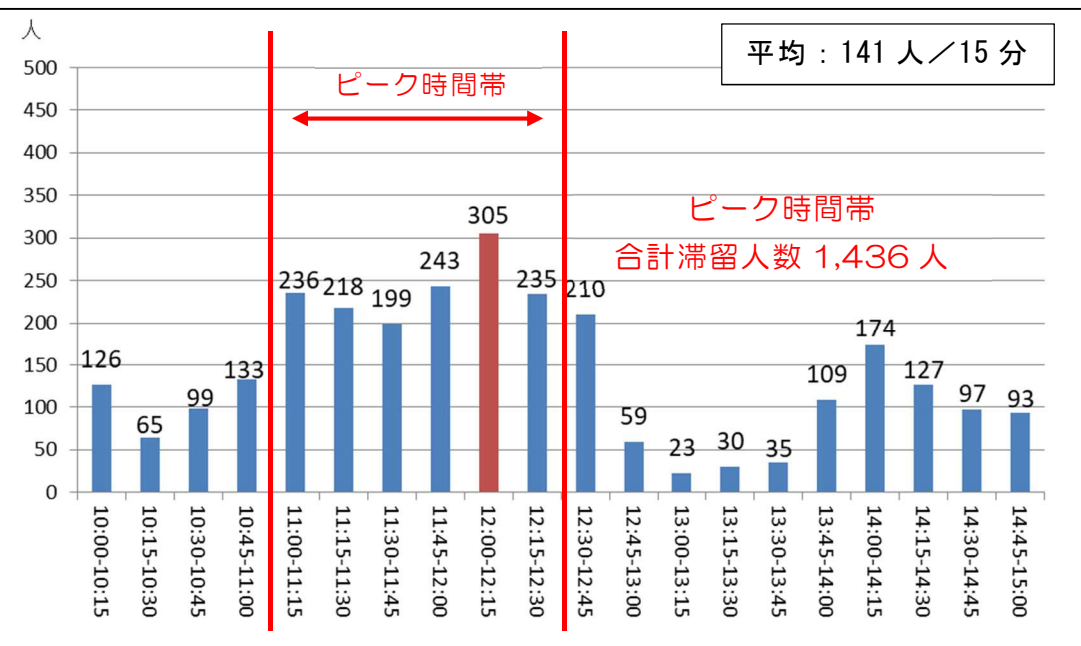
▼平成 29 年 8 月 20 日（日）



▼平成 28 年 8 月 22 日（月）



▼平成 29 年 8 月 21 日（月）



※本結果は、同時期に実施した沖縄県観光振興課における「那覇空港-豊崎路線バス実証」による効果を合わせた効果（沖縄県の取組の詳細は「平成 29 年度観光 2 次交通機能強化事業委託業務 報告書」参照）

4.2.2 レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の状況

○本実証に参加したニッポンレンタカーの乗り場付近（ANA 側）および沖縄県実証に参加したオリックスレンタカー付近（JAL 側）の混雑の解消が確認できた一方で、レンタカー送迎車両乗り場中央付近においては、以前として混雑の状況が続いていることが確認できた。

【ピーク時の送迎車両乗り場状況】

▼平成 28 年度



▼平成 29 年度



※本結果は、同時期に実施した沖縄県観光振興課における「那覇空港-豊崎路線バス実証」による効果を合わせた効果（沖縄県の取組の詳細は「平成 29 年度観光 2 次交通機能強化事業委託業務 報告書」参照）

4.3 レンタカーを借りるまでの所要時間（沖縄県調査結果）

レンタカー利用者へのアンケート調査結果をもとに、レンタカー貸渡にかかる所要時間を把握し、昨年度の調査結果との比較を行った。

○実験期間中（平成 29 年度）における、貸出ピーク時間帯の那覇空港到着からレンタカーを借りるまでに要した全体の時間は、平均値が平成 28 年度からやや減少しているが、所要時間の最大値等、概ね同様の傾向となっている。

○段階ごとにみると、「②空港出口を出てから送迎車両に乗り込むまで」の平均所要時間は、平成 28 年度の 15.4 分から 4.5 分短縮しており、所要時間の最大値は 60 分から 30 分短縮している。

○一方で、「④営業所到着からレンタカーを借りるまで」の平均所要時間は、平成 28 年度の 17.6 分から 1.4 分、所要時間の最大値は 50 分から 30 分増加している。

【平成 28 年度／レンタカーを借りるまでの所要時間（ピーク時）】

	那覇空港到着からレンタカーを借りるまでに要した時間 [分]	①着陸時から手荷物を受け取り空港出口を出るまで [分]	②空港出口を出てから送迎車両に乗り込むまで [分]	③送迎車に乗ってから営業所に到着するまで [分]	④営業所到着からレンタカーを借りるまで [分]	⑤その他 [分]
平均値	60.7	17.3	15.4	12.9	17.6	9.2
最大値	120	60	60	40	50	25
75%タイル値	75	20	20	15	20	10
中央値	60	15	10	10	15	10
25%タイル値	45	10	5	10	10	5
最小値	20	5	5	5	5	5

[n=97]

【平成 29 年度／レンタカーを借りるまでの所要時間（ピーク時）】

	那覇空港到着からレンタカーを借りるまでに要した時間 [分]	①着陸時から手荷物を受け取り空港出口を出るまで [分]	②空港出口を出てから送迎車両に乗り込むまで [分]	③送迎車に乗ってから営業所に到着するまで [分]	④営業所到着からレンタカーを借りるまで [分]	⑤その他 [分]
平均値	59.2	15.1	10.9	13.4	19.0	7.9
最大値	120	40	30	30	80	15
75%タイル値	65	20	15	20	20	10
中央値	60	15	10	15	15	10
25%タイル値	50	10	5	10	10	5
最小値	15	5	5	5	5	0

[n=73]

※本結果は、同時期に実施した沖縄県観光振興課における「那覇空港-豊崎路線バス実証」による効果を合わせた効果（沖縄県の取組の詳細は「平成 29 年度観光 2 次交通機能強化事業委託業務報告書」参照）

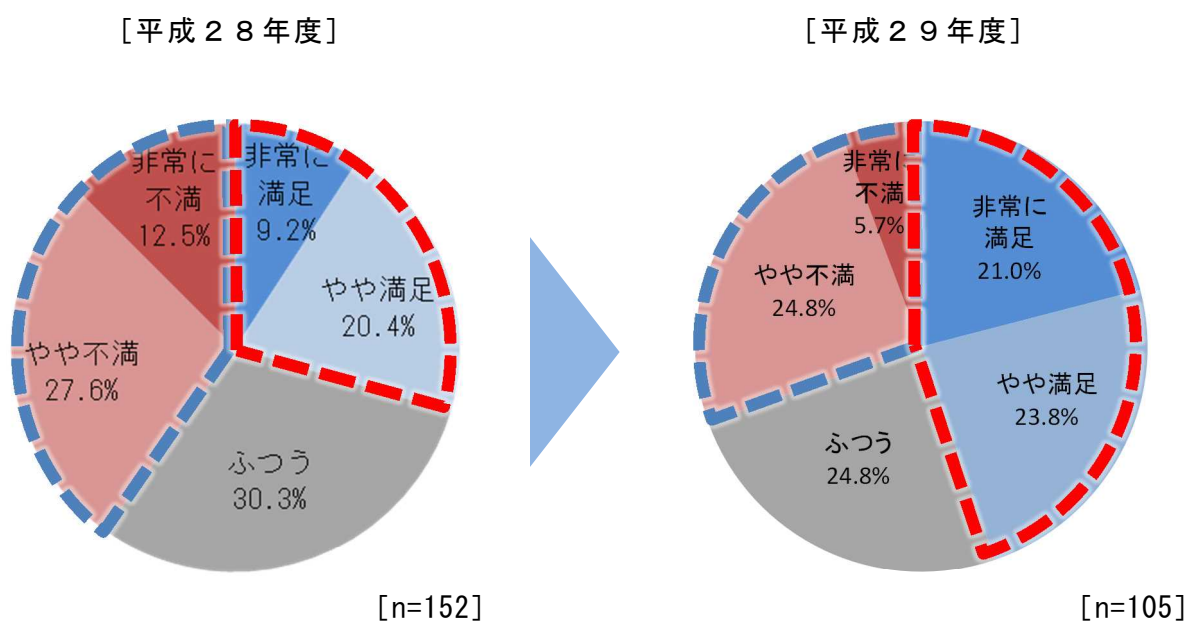
4.4 レンタカー貸渡の満足度（沖縄県調査結果）

レンタカー利用者へのアンケート調査結果をもとに、レンタカー貸渡にかかる満足度を把握し、昨年度の調査結果との比較を行った。

○貸出ピーク時間帯にレンタカーを借りた人の満足度は、「非常に満足」または「やや満足」という回答の割合が 29.6%（H28）⇒ 44.8%（H29）と、15.2%増加している。特に、「非常に満足」という回答の割合は平成 28 年度の 9.2%から 11.8%増加している。

○「非常に不満」または「やや不満」という回答の割合は 40.1%（H28）⇒ 30.5%（H29）と、9.6%減少している。特に、「非常に不満」という回答の割合は平成 28 年度の 12.5%から 6.8%減少している。

【レンタカーを借りるまでの満足度（ピーク時）】

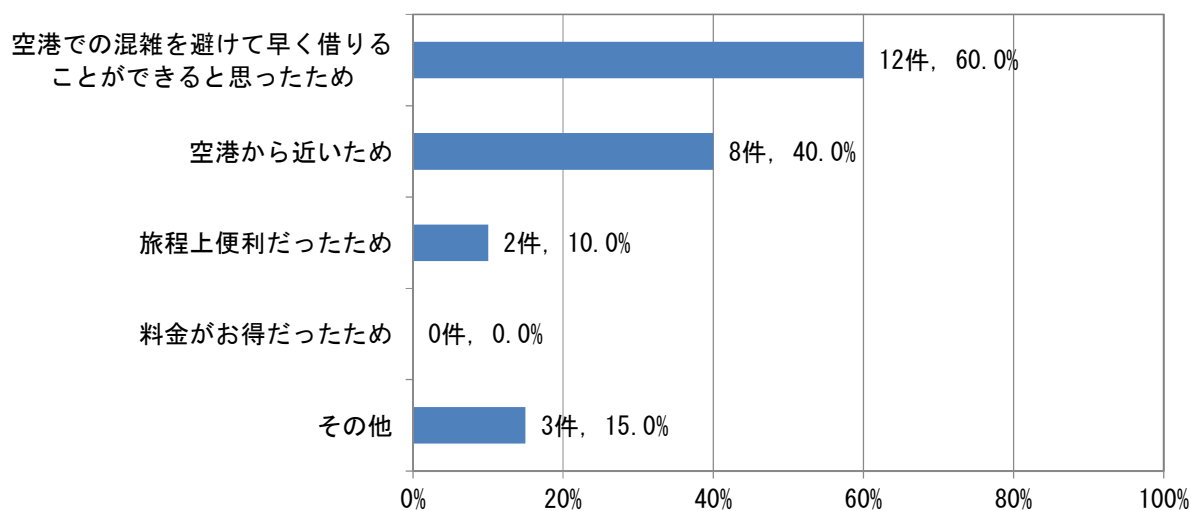


4.5 うみそら公園出発プラン及びマリナクティビティの利用意向

うみそら公園出発プラン利用者へのアンケート調査を実施し、うみそら公園出発プランを選んだ理由や、今後のうみそら公園出発プラン及びマリナクティビティの利用意向を把握した。調査結果を以下に示す通りとした。

(1) 【うみそら公園出発プラン】を選んだ理由（複数回答）

○うみそら公園出発プランを選んだ理由は、「空港での混雑を避けて早く借りることができると思ったため」、「空港から近いため」と回答した割合が高かった。
○「その他」の意見として、「申し込み時ここしか空いてなかった」、「気付いたらそうになっていた」等の意見が挙げられた。



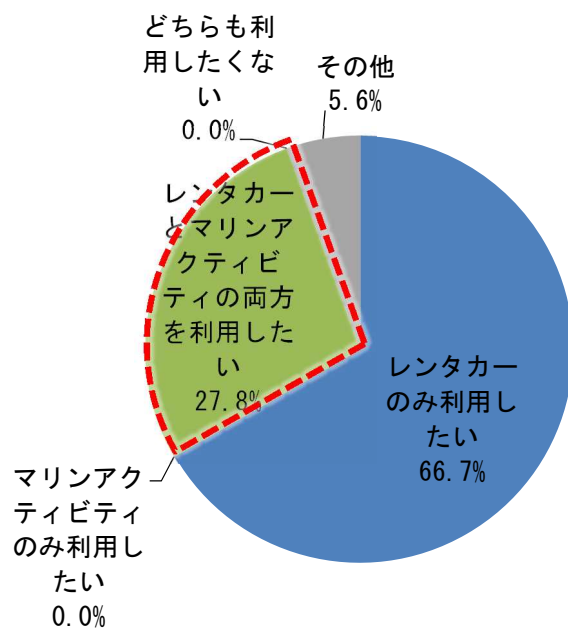
[n=20]

《その他の回答（自由記述）》

申し込み時はここしか空いてなかった、気付いたらそうになっていた 等

(2) 次回の【うみそら公園】でのレンタカー貸渡プラン、アクティビティ利用意向

○次回の【うみそら公園】でのレンタカー貸渡プラン、アクティビティ利用意向について、「レンタカーのみ利用したい」と回答した割合は 66.7%、「レンタカーとマリンアクティビティの両方を利用したい」が 27.8%であった。



[n=18]

5. 関係者会議の開催

本実証の円滑な実施に向けた意見交換や実証後の情報共有および今後の方向性等の検討を行うため、国、沖縄県、那覇空港関係者、港湾関係者、うみそら公園関係者、レンタカー事業者、バス事業者等を招集した関係者会議を本実証の実施前と実施後の計2回にわたり開催した。

5.1 第1回 関係者会議

第1回の関係者会議においては、本実証の適切な実施計画の策定のための運用方法等の検討や、各関係者の実証にあたる準備等の進捗状況についての議論や情報共有を行った。

第1回の関係者会議の概要を以下に示す。

図表12 第1回 関係者会議の開催概要

開催日時	○平成29年6月21日（水）10:00～11:30
開催場所	○波の上うみそら公園学習室
出席者	与古田 思好（一般社団法人 沖縄県レンタカー協会 ／ニッポンレンタカー 常務取締役） 上原 真樹（ニッポンレンタカー沖縄株式会社 管理部 部長） 金城 裕二（ニッポンレンタカー沖縄株式会社 管理部 係長） 団上 博俊（株式会社日産レンタカーリース沖縄 部長） 東 伸浩（那覇港管理組合 総務部 総務課 調整係 主任技師） 比嘉 俊雄（波の上うみそら公園管理事務所 所長） 比嘉 定勝（ナハ・シー・パラダイス協働企業体） 伊礼 徹也（ナハ・シー・パラダイス協働企業体） 玉城 栄春（沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 副参事） 大仲 浩二（沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 主幹） 小柳 美枝子（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 企画室長） 伊志嶺 友浩（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 室長補佐） 新田 史真子（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 専門官） 池間 隆弘（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 企画係員） 佐藤 貴行（㈱オリエンタルコンサルタンツ（調査受託事業者）） 江崎 貴昭（㈱オリエンタルコンサルタンツ（調査受託事業者）） 岸本 太幹（㈱オリエンタルコンサルタンツ（調査受託事業者））

議事次第	1. 開会挨拶 2. 出席者紹介 3. 実証事業概要の説明 4. 進捗状況等の確認 5. 効果検証について 6. 今後の予定 7. その他
会議の様子	

※所属および役職については、関係者会議の開催時のものとした

5.2 第2回 関係者会議

第2回の関係者会議においては、本実証の実施結果および沖縄県実施の実証結果を踏まえた中之島混雑緩和の効果検証結果の報告や本実証結果を踏まえた利用環境改善策に向けた方向性等について意見交換を行った。

第2回の関係者会議の概要を以下に示す。

図表 1 3 第2回 関係者会議の開催概要

開催日時	○平成 29 年 11 月 15 日（水）10:30 ～ 12:00
開催場所	○沖縄総合事務局 那覇第 2 地方合同庁舎「5 F 海技試験室」
出席者	白石 武博（一般社団法人 沖縄県レンタカー協会 会長） 与古田 思好（一般社団法人 沖縄県レンタカー協会 ／ニッポンレンタカー 常務取締役） 上原 真樹（ニッポンレンタカー沖縄株式会社 管理部 部長） 金城 裕二（ニッポンレンタカー沖縄株式会社 管理部 係長） 東 伸浩（那覇港管理組合 総務部業務課 主任技師） 比嘉 俊雄（波の上うみそら公園管理事務所 所長） 高江洲 誠（一般社団法人 沖縄県バス協会 業務課 課長） 高見 洋平（一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 受入事業部 受入推進課 主任） 手島 祥隆（国土交通省 大阪航空局 那覇空港事務所 広域空港管理官） 吉原 直（国土交通省 大阪航空局 那覇空港事務所 総務課 主査） 大仲 浩二（沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 主幹） 小柳 美枝子（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 企画室長） 伊志嶺 友浩（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 室長補佐） 池間 隆弘（内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室 企画係員） 佐藤 貴行（㈱オリエンタルコンサルタンツ（調査受託事業者）） 江崎 貴昭（㈱オリエンタルコンサルタンツ（調査受託事業者））
議事次第	1. 開会挨拶 2. 出席者紹介 3. 実証事業結果について （1）実証の利用実態について （2）夏季における中之島混雑緩和策の効果検証結果 4. 本実証を踏まえた今後の方向性（案） 5. 次年度夏季における中央バスプールの運用（案） 6. 意見交換 7. その他

会議の様子



※所属および役職については、関係者会議の開催時のものとした

6. まとめと今後の課題

6.1 本実証の総括

本業務では、公共交通の利便性の向上および那覇空港の混雑緩和策として、波の上うみそら公園施設内にレンタカー営業所を設け、那覇空港からうみそら公園営業所へレンタカー利用者を効率的に運送する実証調査を行った。

本実証の実施計画段階においては、うみそら公園営業所利用者の那覇空港の送迎車両乗車箇所を空港 1 番乗り場としたが、より円滑かつ効果的な実証とするため、関係者（大阪航空局那覇空港事務所、那覇空港ビルディング、沖縄県バス協会）との協議を経て、2017 年 8 月 1 日より、うみそら公園営業所利用者および那覇空港営業所利用者の送迎車両乗車箇所を空港中央バスプールへと変更した。

本実証の総括を以下に示す。

（１）空港中央バスプール等の送迎車両乗り場としての利活用

上記の通り、8 月 1 日～9 月 16 日において、空港中央バスプールの 2 マス分を送迎車両乗り場として固定利用、その他の空きマスを送迎車両の待機箇所として利用したことについて運用上の大きな問題がみられなかったことや、他のモードへの影響が特段見られなかったこと、また、うみそら公園営業所利用者に加え、那覇空港営業所利用者の中之島以外からの出発が可能となり中島の混雑緩和に一定の効果がみられたことは、大きな成果であると考えられる。

（２）うみそら公園のレンタカー貸渡拠点としての可能性

本実証においては、以下の 3 つの事象により、当初想定したうみそら公園営業所の利用件数には満たなかった。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 本実証への参加事業者がニッポンレンタカーの 1 社のみとなった② ニッポンレンタカーのうみそら公園営業所出発プランの予約件数が伸びなかった③ ニッポンレンタカー那覇空港営業所等、既存の営業所のプラン予約者をうみそら公園営業所での貸渡の変更をすすめることができなかった |
|---|

また、上記①～③の状態となった要因については、以下の 3 つの点が考えられる。

【上記①～③となった要因】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○現状、うみそら公園にはレンタカーステーションとしての機能（洗車、給油、車両保管等）がなく、実証に参加するにあたり経費等がかかる○広報・周知の期間が短く、旅行会社のプランへの組み込みができなかった。また、うみそら公園営業所出発プランのメリットの訴求についても課題があった○ピーク期であり、レンタカー事業者の現場のオペレーション変更が難しい側面があった |
|---|

6.2 次年度以降に向けた課題・方向性

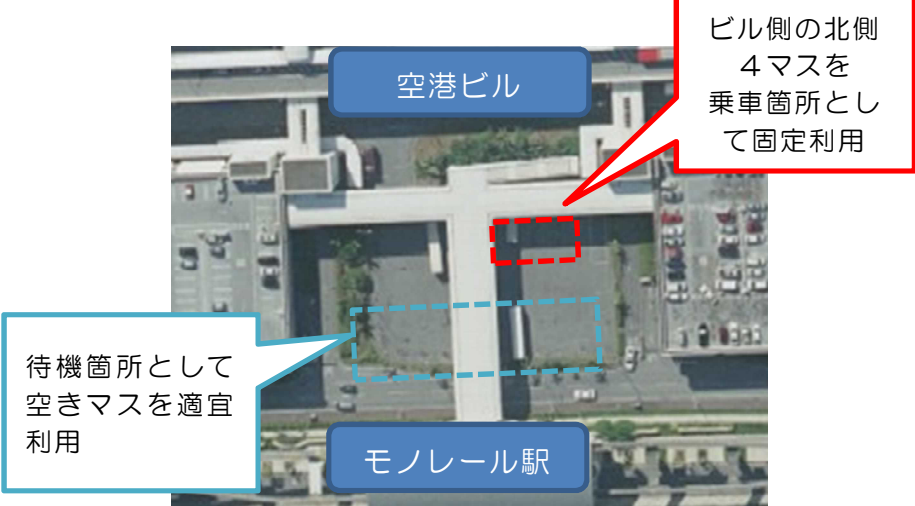
次年度以降に向けた課題・方向性を以下の通り示す。

(1) 空港中央バスプール等の送迎車両乗り場としての利活用の継続 (夏季ピーク期等)

本実証において、空港中央バスプールでの送迎車両乗り場としての活用に特段大きな問題がみられず、中之島混雑緩和に一定の効果があったことを踏まえ、空港中央バスプール等のレンタカー送迎車両乗り場としての利活用の継続について、関係者（大阪航空局那覇空港事務所、那覇空港ビルディング、沖縄県バス協会）と協議を進める必要があると考えられる。

次年度（平成 30 年度）においては、沖縄県バス協会との協議を踏まえ、以下の内容で空港中央バスプールの使用を予定している。

図表 1 4 次年度夏季における空港中央バスプールの使用予定について

期間	○平成 30 年 7 月 13（金）～9 月 17 日（月）
使用 スペース	○空港ビル側の駐車マスのうち、空港ビル側の北側 4 台をレンタカー送迎車両専用スペースとして使用 
使用ルール (案)	○緑ナンバーであれば利用可、自家用（白ナンバー）は利用不可とする ○利用レンタカー事業者は、沖縄県レンタカー協会と協議し、2 社程度とする ○使用車両（バス）は、沖縄県バス協会会員のバス会社のものとする ○空港ビル側接車帯で予約を確認し、空港中央バスプールへ案内・乗車を行う ○その他必要事項があった場合は、沖縄県バス協会、沖縄県レンタカー協会と使用ルールについて協議を行う

（２）うみそら公園のレンタカー貸渡拠点化の検討

本実証を踏まえ、中之島の混雑緩和策および空港周辺の新たな貸渡拠点となる、うみそら公園の複数レンタカー事業者の使用が可能となるレンタカーステーション化の可能性について検討を進める必要がある。

レンタカーステーション化の実現に向けては、給油機能や洗車機能、車両保管機能等の機能が求められることに加え、ある程度車両を保管できるためのキャパシティや夏季における熱対策および雨天時対策として屋根のある施設が必要となる等、うみそら公園内に工作物を設置する必要がある。

うみそら公園内にレンタカーステーション化を実現するための工作物を設置するためには、以下の課題について事前にクリアする必要がある。

【うみそら公園内に工作物を設置するためにクリアすべき課題】

- ① うみそら公園利用者の増加が見込まれる必要がある
⇒うみそら公園は港湾施設であるため、レンタカー営業所としての利用は目的外使用にあたる
⇒本報告書 23 頁のアンケート結果では、レンタカー利用者のうみそら公園でのマリナクティビティの利用意向について一定程度確認されている
- ② 工作物の設置主体は、原則、指定管理者の設置とし、指定管理の委託終了と同時に現状復帰が可能な状態である必要がある
- ③ 公平な港湾施設利用の観点から、単独ではなく、複数レンタカー事業者の利用が見込まれる必要がある

上記の課題をクリアにした上で、用途制限の確認、特区や規制緩和等に関する可能性を検討し、レンタカーステーション化の実現について検討を行う必要がある。

その上で、レンタカーステーション化に向けた実現の道筋がつくのであれば、具体的なロードマップ（実現に向けた課題整理、手法検討、整備内容、予算、スケジュール 等）を検討することが必要となる。

平成 29 年度那覇空港の接車帯における
混雑緩和検討調査業務 報告書

平成 30 年 3 月

内閣府沖縄総合事務局
運輸部企画室